

猿 橋  
小学校

# 瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## 「ネトゲ廃人」

校長 澁谷 一男

里にも初雪が降り、今年も冬本番を迎えた。今年一番の寒さと言われた日の朝、道路も至る所が凍結していた。

「校長先生、(学校に来る途中で) 何回も転びそうになったよ！」その言葉の意味とは裏腹に、興奮気味に笑顔で話す子どもたち。雪を恨めしく思うのは大人だけで、子どもたちにとっては空からのうれしい贈り物だ。これは、昔も今も変わらない。

「ネトゲ廃人」という言葉をご存じだろうか。「ネットゲーム廃人」の略で、オンラインゲームに没頭するあまり、ゲーム中心の生活から抜け出せず、現実の社会生活に戻れなくなった人などをいう。

以前、テレビで「ネトゲ廃人」を取り上げている番組を見た。話には聞いていたが、想像を超える実態に驚愕した。

番組では、自他共に認める「ネトゲ廃人」なる人物(以下A氏とする)が、仮名で動物の人形に扮して登場。MCによるインタビュー形式で番組が進行する。A氏によれば、「ネトゲ廃人」には、日常生活に支障を来すほどゲームにお金を費やす者と生活の大半をゲームの時間に費やす者がいる。主に携帯電話やスマートフォンで行うソーシャルゲームはお金を費やすタイプが多く、パソコンで行うネットゲームは時間を費やすタイプが多いのだそうだ。

前者のタイプは、欲しいアイテムのために100万円程の課金をすることも珍しくなく、中には数千万円、数億円単位で課金する「重課金者」もいるという。A氏は、後者のタイプで、1日のうち20時間をゲームに費やす。平均睡眠時間は3時間で、全く眠らないこともしばしばあるという。本来、息抜きや余暇を楽しむためのはずのゲームが、生活そのものになっている。

何がA氏をそこまでかき立てるのか。A氏は言う。「現実の世界では努力が必ずしも成果につながるとは限らない。しかし、ゲームは時間を費やした分だけ明確な成果があり、評価される。」現にA氏は、複数のゲームで、数十万人のユーザーのトップを維持しているという。

ここで、誰もが問いたくなることは、「でも、現実の世界では何も残らないではないか」ということだろう。番組でもMCがこのことを指摘した。A氏いわく、「何か残すことだけに価値があるのか。何か残すことだけが幸せなのか。おいしい物を食べても何も残らない。何かを残すことよりも今を楽しく生きることが大事だ。」さて、皆さんはどうお考えになるだろう。

子どもたちが家庭や地域で過ごす冬休み。昔と比べ子どもたちの遊びも様変わりした。それでも、年末・年始には様々な人たちと関わる機会も多かる。彼らが現実社会での生きた関わりであることを切に願う。

よいお年をお迎えください。

